

ステンレス溶接技術で多くの業界を支える “なんかスゴイ”京都の老舗ものづくり企業

株式会社 **KIWS**
(キューズ)



1916年創業、“鍛冶屋”に端を発する株式会社KIWS(旧:株式会社 北村鉄工所)は、「ステンレス溶接」をコア技術とし、100年以上の歴史を持つ京都の企業です。今回は、代表取締役社長の北村征志氏に、創業からの歩み、ものづくりと人づくり、そして経営にかける思いをお伺いしました。

創業100年超、長らく培ったステンレス溶接技術で多くの業界へ参入

当社は創業 1916 年、大正の時代に京都の東九条で創業した鍛冶屋に始まり、昔から京都でものづくりをやっている企業です。1957年に法人化して株式会社北村鉄工所となり、2024年に株式会社KIWSに名称を変更しました。

まだステンレス溶接が一般的でなかったときから TIG 溶接（ステンレスの溶接に適したアーク溶接の一種）を手がけ、長年培った技術をもって、食品・防災・医療・製薬といった業界で生産用設備などをワンストップで製造・納品しています。



1956年に京都の有名産業機械メーカーの協力工場指定を受けたことで半導体業界へ進出し、かつてはそこでの売り上げがメインでした。一方で半導体業界というのは浮き沈みが激しい業界でしたので、そのリスクヘッジとして顧客開拓の必要性も感じていました。

そうした折、防災関連メーカーの調達の方から板金部品の引合いを受けました。当社の溶接技術とその後工程までを手掛けるワンストップ納品を高く評価していただき、サプライヤー認定を受けました。それと並行して、寸分のピンホールをも許さない当社の「真真空密溶接」が医療・食品・衛

生の分野でご活用いただけるようになり、しだいに経営も安定しました。このような横展開ができたことも「ステンレス溶接」の技術をつないできたがゆえの成果です。

当社が手掛ける水道管用の「電磁流量計」も高度な溶接技術が求められる製品です。水道インフラの老朽化が社会問題となるなか、高まる設備更新のニーズに、これから当社の技術が大きく貢献できると考えています。

顧客の現場に目を向けよ！KIWSのものづくり

当社の強みのひとつとして挙げられるのが、製品開発における幅広い対応力です。顧客固有のさまざまな課題を解決するためには、その製品が利用される「現場」にマッチしたものであることが重要です。ですので、当社の技術者は顧客から何か相談があれば第一に現場へ馳せ参じます。現場で徹底的に調査する開発姿勢こそが当社の対応力の源泉であると考えています。

現場を知ることの重要性を思い知らされた事例があります。当社が納品した自動化設備で、機械の不具合はないのになぜか生産量が安定しない。よくよく現場を観察してみると作業者が自分のスピードに合わせて設備の設定を変えていました。顧客が実際にどのような使い方をされているのかも注視すべきと感じました。

さらに、現場を知ることによって課題解決に大きく貢献できた事例として「ほぐし機」があります。

お弁当のご飯は炊きあがるとすぐに“ほぐす”必要があります。ほぐし機はその工程を自動化する当社オリジナルの省人機なのですが、現場の困りごとを解消するプラスアルファの機能を持っています。大きな業務用炊飯器の釜からご飯をほぐし



代表取締役社長 北村 征志 氏

株式会社 KIWS

事業内容：各種自動・省力化機器、真空関連機器の
設計・製作

本 社：京都市南区久世中久世町 4-33

創 業：1916(大正5)年6月

社 員 数：41 名



会社ホームページへリンクします



工程に流す作業があるのですが、この釜は7kgと重く、さらに数分おきに炊きあがってくるため作業者に大きな負担を強いていました。そこで当社のほぐし機はその作業も自動化する機構を付加して負担を軽減しています。

当社は炊飯器の製造も手掛けているため、その前後の工程を熟知しています。だからこそこのような製品が生まれたのだと考えています。



炊きたてのご飯をほぐすオリジナルの自動機
現場の困りごとを解消する対応力が強み

差別化の源泉は「人の技術」にあり！

KIWSの人づくり

私は経営において「機械の技術」「人の技術」の相乗効果を高めることが重要であると考えています。中小企業が受注を獲得するためには他社との差別化が欠かせません。顧客の課題を解消しつつ、期待を上回るような製品を提供しなければ勝ち目はありませんので、機械化・自動化で独自性をいかに創出するか、を常に意識しています。

そして、そのアイデアを生むのは人ですので「人の技術」は同時に重要視しています。当社では人材育成のために、社内OJTのみならず、公的機関や外部セミナーの受講といったOff-JTの機会も多く与えています。

私は、従業員の「得意」を十分に伸ばし、チャレンジする機会を存分に与え、「やりたいこと」をやらせ、仕事を楽しんでほしいと願っています。今後も「当社ならではの」を維持発展させるために、人材への投資を積極的に推し進めていきます。

新社名「KIWS」に込めた“挑戦”の意志

当社は、2024年12月25日付けで社名を「株式会社KIWS (Kitamura Iron Works' S) へと変更しました。この名称変更は、従前の社名にある「鉄工所」という言葉に紐づく固定観念をどうにかしたい、そして自社製品のブランド力を高めたいという思いから始まりました。

いろいろと考えた末、「どんなことをやっている会社だろう？一度のぞいてみよう」と興味をもってもらえるような名前として、この社名になりました。ロゴについてもすがすがしい配色と上昇志向をイメージさせる右上がりのデザインです。

当社は創業から1世紀を超える長きにわたり、ものづくりを手掛けてきました。やっていることはそれほど変わりませんが、外部環境は大いに変化しました。今回の社名変更では、イメージ刷新とともに、来る変革の時代に心持ちを新たに立ち向かっていきたいという挑戦の意志も込めました。社員からの評判も上々で、求人面でも良い効果がでてきていると思います。

当社は、ステンレス溶接というコア技術を次世代につなぎ、顧客の期待に応え続けていくことが使命だと思っています。これからも溶接技術にさらなる磨きをかけ、顧客の現場がわかる唯一無二の「なんかスゴイ」京都のものづくり企業として邁進していく所存です。

—貴重なお話をいただき、ありがとうございました